

# Web of Science Research Assistant/文献レビュー2.0

生成AIとエージェントAIによる検索支援ツール

1 日本語を含む多言語による自然言語検索

2 Web of Science収録論文が対象、典拠となる論文へのアクセスが容易

\*検索範囲はご契約の範囲内です

3 論文検索に加え、文献レビュー、研究動向や研究課題の探索も可能



幹細胞治療の研究のギャップを教えてください MK

幹細胞治療に関する研究のギャップを特定するために、まずはテーマを少し具体化する必要があります。幹細胞治療は非常に広範な分野であり、特定の疾患や応用分野に焦点を当てることがあります。以下のサブピックの中で、特に関心があるものはありますか？

1. 神経疾患に対する幹細胞治療
2. 心血管疾患に対する幹細胞治療
3. 皮膚再生における幹細胞の応用
4. 幹細胞を用いた癌治療
5. 幹細胞治療の倫理的側面

どのトピックに焦点を当てるか教えていただければ、それに基づいて検索戦略を立てます。

幹細胞治療の倫理的側面をお願いします MK

幹細胞治療の倫理的側面に関する研究のギャップを特定するために、まずは検索戦略を立てます。このトピックに関連するキーワードやサブピックを提案しますので、ご確認ください。

提案するキーワードとサブピック:

- 幹細胞治療
- 倫理的側面
- 倫理的課題
- 倫理的ジレンマ
- 幹細胞研究の倫理
- 倫理的承認
- 幹細胞治療の規制
- 患者の同意

この検索戦略で問題がないか、あるいは追加や修正が必要か教えてください。

はい MK

以下に幹細胞治療の倫理的側面における研究のギャップを4つのテーマに分けて特定し、サマリーを提供いたします。

研究のギャップ

1. 患者と公衆の関与と教育の不足:
  - 幹細胞治療は高いリスクと潜在的な利益を含むため、患者と公衆の関与が重要ですが、これらのステークホルダーが意思決定プロセスに十分に参加していないという指摘があります[Heyder et al., 2020]。
  - 教育と公共の認識向上が求められているが、具体的な方法や効果的な戦略の研究が不足しています。
2. 倫理的基準と規制の不統一:
  - 幹細胞治療の倫理的基準は国や地域によって異なり、特に低中所得国では倫理基準が不十分であると指摘されています[Sleeboom-Faulkner, 2016]。
  - 国際的な倫理基準の統一や、各国の規制機関による調整が進んでいないことが問題となっています。
3. 倫理的ジレンマとリスク管理の不備:
  - 幹細胞治療の臨床試験では、リスクと利益のバランスをどう取るかという倫理的ジレンマが存在します。特に新しい治療法の安全性評価と患者への負担をどう最小化するかが課題です[Piuzzi et al., 2020]。
  - これに関連する詳細なリスク管理戦略の研究が不足しています。

# デモンストレーション動画

<https://youtu.be/PnIEHfRaIVA>

The screenshot shows the Web of Science Research Assistant interface. On the left, there's a sidebar with a menu icon, a '新しいチャット' (New Chat) button, a 'チャット履歴' (Chat History) section listing recent conversations, and a 'フィードバックを送る' (Send Feedback) section. The main area is titled '質問して新しいチャットを開始' (Ask a question to start a new chat). It features a text input field with '研究の質問をする' (Ask a research question) and a blue '→' button. Below this, there's a section titled 'ガイド付きタスクを選択:' (Select a guided task) with three options: 'トピックを理解する' (Understand a topic), '文献レビュー 2.0' (Literature review 2.0), and 'ジャーナルを見つける' (Find a journal). At the bottom, there's a '質問の例:' (Example question) section with the text '気候変動は生態系の多様性にどのような影響を与えるか' (What impact does climate change have on ecosystem diversity?) and a '↑ トップに ?' (Top ↑ ?) button.

# Research Assistant

## 生成AIによる文献検索アシスタント

日本語で質問を入力  
(他の言語でも可)

質問して新しいチャットを開始

ガイド付きタスクを選択:

- トピックを理解する
- 文献レビュー2.0
- ジャーナルを見つける

Clarivate™

論文数の年次推移グラフ、  
トピックの関係、上位の著者や  
関連する質問の提案

これらの結果をどのように生成しますか? ↗

検索に使ったキーワードを確認可能

概要

クエリを使用して、Web of Science Core Collection のドキュメントを検索しました トピックを使用 "(climate change OR global warming OR climate variation OR climatic changes OR climate variability OR climate crisis OR climate emergency OR greenhouse gases OR anthropogenic climate change OR carbon emissions) AND (ecosystems OR ecological systems OR biodiversity OR species diversity OR ecosystem diversity OR biological diversity OR ecological diversity OR natural habitats OR flora and fauna OR environmental systems) AND (impact OR effect OR influence OR consequence)"、合計 164,559 件見つけました。

生物多様性のストレスへの影響:

- 気候変動は生物多様性への影響が確認されています。
- 研究では、気候変動によるストレスを3つのレベルに分類し、具体的なストレスの詳細を示しています。
- 生物多様性のストレスは、特に人間の活動による生息地の破壊と相まって、深刻な影響を及ぼすことが指摘されています。

生態系サービスへの影響:

- 気候変動は生態系サービスの提供に重大な影響を与え、食料安全保障や病気の伝播リスクを変化させています。
- 生態系サービスの変化は、特に農業や自然生態系の構成において顕著であり、これが人間の福祉に直接的な影響を及ぼすことがあります。

完全な応答を見る

検索結果の論文の概要やまとめ

論文フルレコードへのリンク  
(まとめで参照されている論文には対応する番号を付与)

8 参照されている件のドキュメント:

- Classification of Climate-Change-Induced Stresses on Biological Diversity (Geyer, J.; Kiefer, I.; ...; Ibisch, PL) AUG 2011 | CONSERVATION BIOLOGY
- The biotic effects of climate change (Lister, AM) FEB 2009 | CLINICAL MEDICINE

この応答に関連する追加ドキュメントを表示 →

次に何を表示しますか?

- Ecosystem diversity のドキュメントの時系列グラフ このトピックの出版のパターンを確認
- トピックマップ 関連概念と関係概念を表示
- 上位の著者 このトピックの大きな影響力を持つ人々を表示
- エコシステムの多様性に関する重要な論文について知りたいです。
- 生態系の多様性は気候変動にどのように応答しますか?

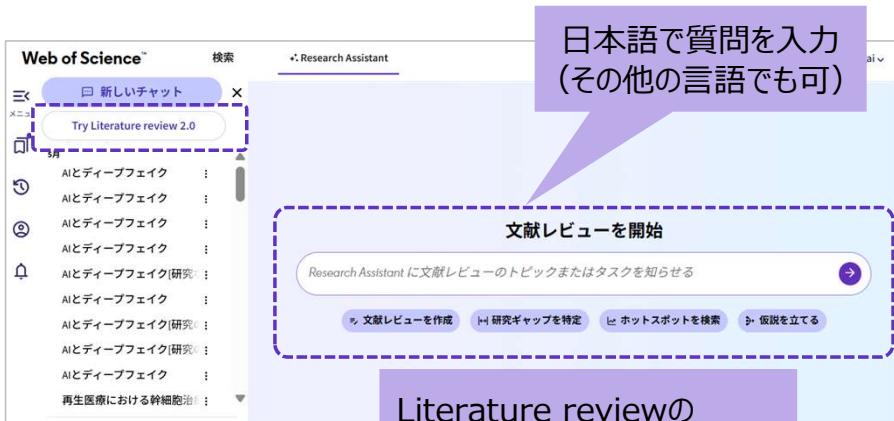
気候変動が生態系の多様性に及ぼす影響について

Ecosystem diversity のドキュメントの時系列グラフ: 年数: 25 年 検索を表示

3

# 文献レビュー2.0

## エージェントAIによるアシスタント



### Literature reviewの4つのメニュー

- ・文献レビューの作成
- ・研究のギャップの特定
- ・研究のホットスポットを検索
- ・仮説を立てる

気候変動が生態系の多様性に及ぼす影響について MK

ご質問ありがとうございます。気候変動が生態系の多様性に及ぼす影響についてのレビューを作成するために、まずいくつかの詳細を確認させてください：

- 特定のリクエスト: あなたのリクエストは、以下のどれに該当しますか？
  - (a) 文献レビュー
  - (b) 研究ギャップ
  - (c) 研究のホットスポット
  - (d) 仮説の形成
- サブピックの提案: 気候変動の影響に関するサブピックを検討されたい場合は、特定の地域や生態系、または特定の生物種に焦点を当てたい場合など。

一度に一つの質問にお答えしますので、まずはどちらかを教えてください。

文献レビュー MK

ありがとうございます。文献レビューを作成するためには、次に以下の情報を確認させてください：

- サブピックの提案: 気候変動が生態系の多様性に及ぼす影響について、特定の地域、特定の生態系、または特定の生物種に焦点を当てたいなど、特定のサブピックがありますか？
- 時間制限: 通常、直近10年間の文献を対象にすることをお勧めします。この期間で問題ありませんか？

これらの質問に一つずつお答えください。

ありがとうございます。以下の50件の文献を使って、気候変動が生態系の多様性に及ぼす影響についての文献レビューを作成します。

文献レビュー

はじめに

気候変動は、地球規模で生態系とその多様性に重大な影響を及ぼしており、これに対する適応戦略や保護策が求められています。特に、気候変動が生物多様性に与える影響は、種の分布や生態系の構造、機能に及び、これらはさらに人間社会における生態系サービスにも影響を与えます。

共通のテーマと主要な発見

- 気候変動と生物多様性の変化: 気候変動が生物多様性に与える影響は、直接的なものと間接的なものと間種の絶滅リスクを高めるだけでなく、生態系の構造や機能も変化させることが示されています [Stein et al., 2017]。
- 適応と緩和策: 生物多様性の保護を目的とした適応戦略や緩和策が提案されており、これらは自然資源を利用して気候変動の影響を緩和することを目指します [Stein et al., 2013]。
- 生態系サービスへの影響: 気候変動は、生態系サービスに直接的な影響を及ぼし、これにより生態系が提供する社会的、経済的価値が変化します。これには、食料生産や水資源管理が含まれます [Weiskopf et al., 2020]。
- 地域特性の重要性: 地域によって気候変動の影響が異なるため、地域特性に応じた保護策が必要です。例えば、地中海地域では、気候変動に対する生物の適応力が研究されています [Aurelle et al., 2022]。

論文フルレコードページへのリンク

研究のギャップ

# Research Assistant、Literature review

## よくある質問

質問	回答
使用しているデータは？	<b>検索対象はWeb of Scienceの収録情報（アブストラクトを含む）</b> です ・例えば『日本で一番高い山は？』など、Web of Scienceに収録されていない研究成果については回答しません ・ジャーナル・インパクトファクターやTop10%論文などの指標を含む質問にも回答しません
使われているテクノロジーは？	<b>GPT</b>
Chat GPTと何が違う？	使われているテクノロジーは同じですが、 <b>検索対象がWeb of Science収録レコードに限定され、出典が明示される点が異なります</b>
利用者のプライバシー・セキュリティをどのように担保しているのか？	<b>利用者が入力したプロンプト以外の情報（アクセスポイントなど）は記録されません</b> ・回答や生成結果にバイアスがかかるのを防ぐため、利用者のプロンプトは保存せず、また大規模言語モデル（LLM）の学習にも使用しません ・出版社のコンテンツ、図書館所有の資料はいかなる目的においてもLLMに共有・提供されません
Research Assistantが生成した情報（テキスト等）は、そのまま使用して良いのか？	<b>生成された情報を複製または再利用することはできません</b> また、生成された内容は現時点でWeb of Scienceに収録された情報をもとにしており、研究の発展に伴い将来変更になる可能性もあります